

CASBEE® 広島

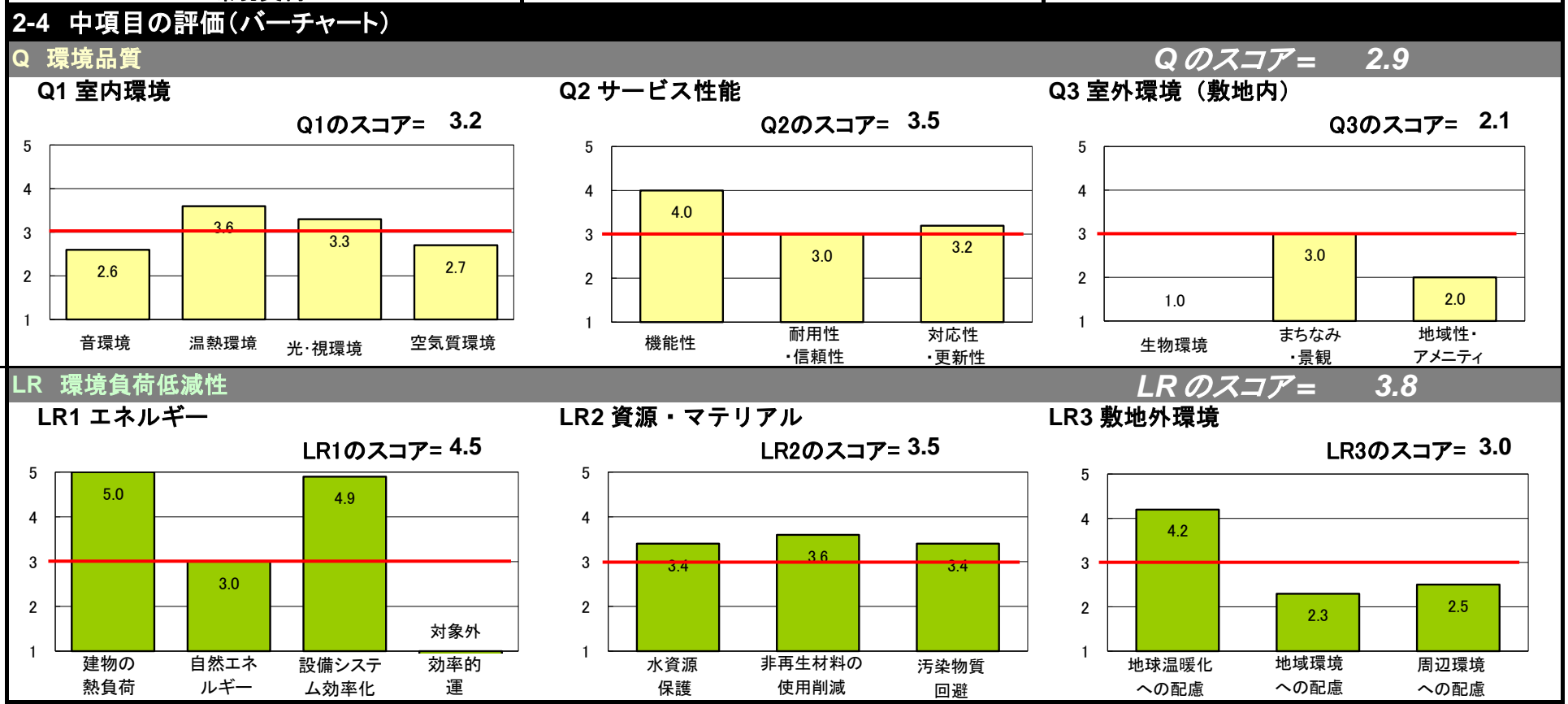
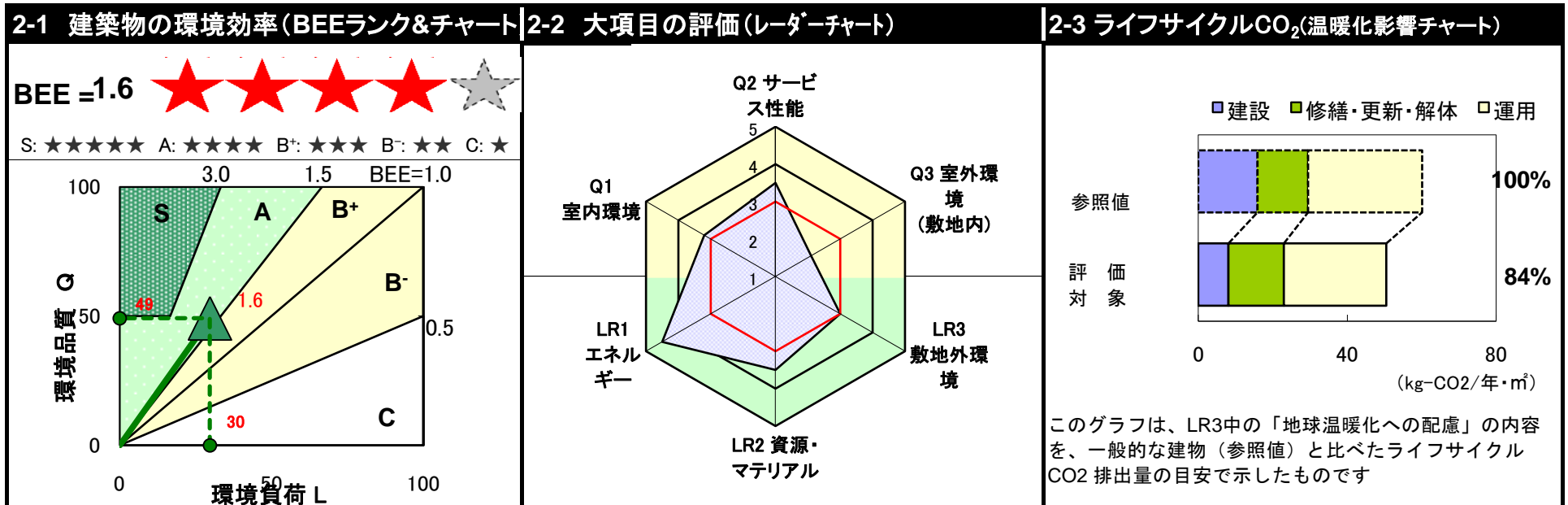
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クラス広島ザ・マーク	階数	地上14F
建設地	広島市中区基町15-1	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	86人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2012年6月25日
敷地面積	434 m ²	作成者	株式会社ア・トライフ 佐坂
建築面積	335 m ²	確認日	2012年6月25日
延床面積	3,962 m ²	確認者	同上



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.2	スコア = 1.6	スコア = 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 日常生活において、使用エネルギーを抑え、効率的かつ快適な住空間を目標とした。// 自然冷媒の温水器を採用することで、環境への負荷を抑え、省エネルギーに努める。// 節水器具を採用し、必要な分だけ使用し無駄を省くようにします。また、躯体の鉄骨材はもちろん、付帯設備にも再利用可能な製品をなるべく採用して限りある資源を有効に利用する。// 躯体の鉄骨材が再利用できて、照明にLEDを用い熱負荷と長寿命の観点から温暖化を抑制するように努める。	設計の計画上特段に配慮した事項 /	設計の計画上特段に配慮した事項 鉄骨材の錆対策を講じ、建物の長寿命化を計るようにしました。また、施工時の品質管理にも注意します。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される